

第23回SSORルポ

第23回SSORは、7月12日から14日までの3日間にわたって神戸の有馬温泉に近い五社寮で行なわれた。例年は8月下旬に行なわれてきたのであるが、本年は特にその時期には、APORSや数理計画法国際シンポジウムが開催予定であり重なるので、例年より1カ月早く行なわれた。大学によっては授業が終了していないところもあるので、参加者が少ないかとも思っていたのであるが、今回は50名参加しており、この時期に開催していることやその他種々の条件を考えると、この人数を集めるのは大変であり、今回の事務局の努力の賜ではないかと思われる。

第1日目は受付開始が午前12時からであり、午後1時半には一般発表が始まった。初日の発表は次の5件であった。

1. 「An Extension of the Two-Armed Bandit Problem」
濱田年男 (姫路短期大学)
2. 「Social Choice and Voting」
渡辺隆裕 (東京工業大学)
3. 「ファジィ・スケジューリング問題」
韓 尚秀 (大阪大学)
4. 「リーダー選出問題における最小時間アルゴリズム」
大戸 豊, 茨木俊秀 (京都大学)
5. 「A Note on the Implication Relation between Two Types of Asymptotic Equivalence」
秋本義久 (姫路獨協大学)

開始時間が早かったので、まだそれほど集まっていな
いだろうとの配慮か事務局の濱田先生の先発で開始され
たが、会場には、すでにもう多くの人が集まっていた。
発表会場となった部屋は、非常に涼しくて川のせせらぎ
も聞こえ、そのせいか皆非常にまじめに聞いていた。3
件の学生による発表をはさんで秋本先生の発表に続くの
であるが、最近のSSORは学会の研究発表会とは違っ
て学生にとっては伸び伸びとした研究発表の場ともなっ



一般発表開始 濱田先生

てきた。夜はプログラムでは座談会「ORを考える」と
なっており、いくつかの部屋に分れてORについての座
談会が開かれた。酒を飲みながら話をする部屋があっ
たり、湯(温泉)につかりながら話をする部屋(風呂?)
があったり、4人や2人でゲームの理論を実践する部
屋があったり、各自それぞれ自分の好きな部屋に参加
した。酒部屋では美味しい姫路の地酒も用意され、話
も盛り上がった。

第2日目は朝から雨が降っており、午前の部の一般
発表は次の3件であった。

1. 「制約を持つ Markov 決定過程とその応用」
瀬川良之 (京都大学)
2. 「システムの信頼性最適設計問題と代理制約法による
解法」
正田光伯 (高松工業高専)
仲川勇二 (岡山理科大学) 中島恭一 (姫路工業大学)
3. 「凸あるいは線形の目的関数をもつ多品種流問題」
永持 仁 (豊橋技術科学大学)

昼前には雨もあがり午前の部の最後に田畑先生 (大阪
大学) の司会で坂口実先生 (大阪大学) が「CSP (古
典的秘書問題) の最近の話題」について特別講演をされ
た。

午後は近くの有馬温泉や三田市で開かれているホロ
ンピア '88等に行った人もおり、人数が少し減ったが、残

った人は発表をまじめに聞いていた。午後の発表は、次の5件でORの実用面に関する発表が多く、非常に興味深かった。

1. 「ORとパソコン—アンケート調査を中心として」

井内善臣 (神戸商科大学)

2. 「Global Optimum of the Capacity and Flow Assignment Problem in Elementary Packet-Switched Networks」

上村邦夫 (NTT)

3. 「電波工学による天気予報—予測のための情報の精練」

浅利英吉 (北海道東海大学)

4. 「通信網におけるトラフィック測定精度の検討」

山田博司 (NTT)

5. 「多目的スケジューリング問題」多田実 (大阪大学)

夜は懇親会があり、各自が自己紹介をした。その中で特に目だったのは、今回初参加された人が多いことである。これは、今回積極的に参加の呼びかけをされた幹事の功績であり、今後のSSORの発展のためには重要なことだと思う。

第3日目も朝から雨で、午前中からぼちぼち帰る人も出てきたが、まだまだ理論面・応用面での重要な発表が残っているのに聞いている人が多かった。午前の発表は次の4件であった。

1. 「多値入出力システムの最適冗長について」

豊田泰成, 中島恭一 (姫路工業大学)

2. 「電力系統の経済運用」

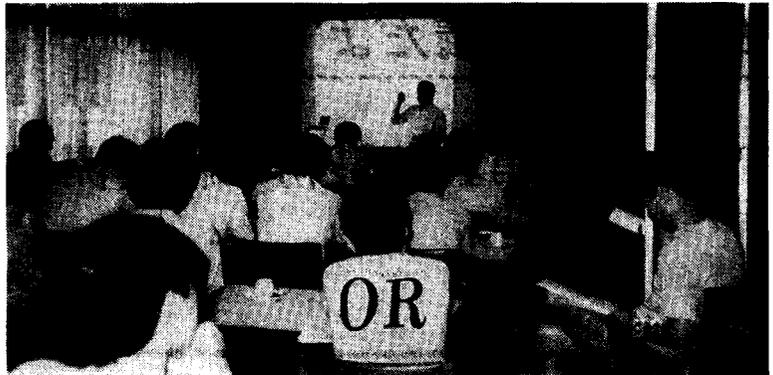
佐藤泰司 (広島大学)

3. 「非線形計画問題に対する線形化法」

高澤圭一 (京都大学)

4. 「生産平滑化問題の感度分析」吉田 稔 (滋賀大学)

午前中最後の吉田先生は非常に熱心な方で、発表され



特別講演 坂口先生

た内容のプログラムの入ったディスクレットを沢山もってこられ聴講者に配られた。

最後の午後の発表は次の4件であるが、事務局の希望の予想に反して意外と遅くまで発表を聞いている人がおられたようである。(筆者は急用のため、午後の発表は聞けなかった)

1. 「Perturbation Analysis について」

倉本 剛 (東京工業大学)

2. 「ポーカーゲームにおける情報公開の価値」

阪井節子 (甲子園大学)

3. 「No-Information Secretary Problem with Three Stops Recognizing Absolute Three Bests」

穴太克則 (大阪大学)

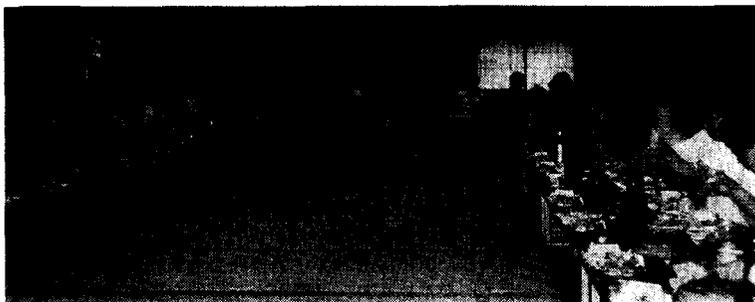
4. 「タイミングゲームについて」

寺岡義伸 (姫路工業大学)

今回のSSORは3日間で例年より1日少なかったが、講演発表に重点がおかれ、発表件数も多く例年に比べ密度が高かったように思う。そのぶん遊びも少なく十分麻雀ができなかったと不満を述べられた人もおられた。

最後にこの場をおかりして、今回の幹事である寺岡義伸先生 (姫路工業大学)、濱田年男先生 (姫路短期大学)、中井達先生 (神戸大学) に感謝いたします。なお、次回のSSORは早稲田大学が幹事校となって行なわれる予定である。

(記 神戸商船大学 塩出省吾)



懇親会